

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成19年5月31日(2007.5.31)

【公開番号】特開2005-317613(P2005-317613A)

【公開日】平成17年11月10日(2005.11.10)

【年通号数】公開・登録公報2005-044

【出願番号】特願2004-131045(P2004-131045)

【国際特許分類】

H 01 L 23/14 (2006.01)

C 09 J 7/02 (2006.01)

C 09 J 201/00 (2006.01)

H 01 L 23/12 (2006.01)

【F I】

H 01 L 23/14 R

C 09 J 7/02 Z

C 09 J 201/00

H 01 L 23/12 5 0 1 S

【手続補正書】

【提出日】平成19年4月9日(2007.4.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0068

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0068】

実施例1～8、比較例1～8

(接着剤シートの作成)

下記の熱可塑性樹脂、エポキシ樹脂およびその他添加剤を、それぞれ表1に示した組成比となるように配合し、これを固形分濃度が28重量%となるようにジメチルホルムアルデヒド(DMF)／モノクロルベンゼン(CB)／メチルイソブチルケトン(MIBK)混合溶媒に配合して40の温度で攪拌、溶解して、接着剤溶液を作製した。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0073

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0073】

【表2】

	比較例1	比較例2	比較例3	比較例4	比較例5	比較例6	比較例7	比較例8
エポキシ樹脂	40	40	40	40	40	40	40	40
熱可塑性樹脂	28	28	28	28	28	28	28	28
硬化剤	4	4	4	4	4	4	4	4
無機フィラー	28	28	28	28	28	28	28	28
軽剥離保護フィルム	PET	PET						
重剥離保護フィルム	PET	PI	PPS	NY	PP	P1	無延伸PE (低密度)	PE (低密度)
重剥離引っ張り伸度 (%at 100°C)	400	70	100	100	120	70	3300	2300
重剥離保護フィルム融点 (°C)	260	400	278	220	170	400	95	115
剥離力差(N/m)	7	12	8	10	7	12	250	110
プレス後剥離力(N/m)	12	13	15	18	15	13	230	130
接着剤引っ張り伸度(%)	400	400	400	400	400	400	400	400
ボイド有無	有り	有り	有り	有り	有り	有り	加工不可	加工不可
リフロー耐熱性(°C)	230	230	230	230	230	230	加工不可	加工不可
サーマルサイクル性 (cycle)	300	300	300	300	300	300	加工不可	加工不可

表2